



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

〇すすんで学習する子（知） 〇思いやりのある子（徳） 〇たくましい子（体）

第2号 令和3年4月9日発行

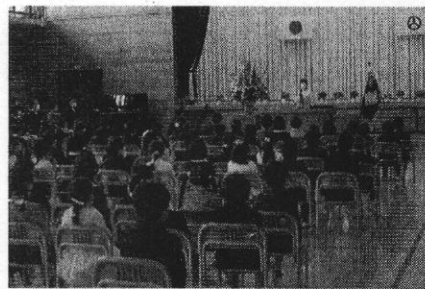
着任式・始業式・入学式にて

今年度も、感染防止のために放送で「着任式」と「始業式」を行いました。着任式では、転入職員の挨拶後、児童代表の6年児童が心のこもった素敵な歓迎の言葉を上手に話すことができました。内容も話し方もさすが小原田小の6年生だと感心しました。4月から小原田小のリーダーとなった6年生のみなさん。最上級生としての自覚が感じられ、うれしく思いました。歓迎の言葉を受け取った職員は、うれしかったことと思います。

また、入学式においても、1年生の児童に向けて歓迎の言葉を6年児童が話しました。1年生に分かりやすい言葉で、やさしく聞き取りやすい口調で伝えることができました。それを聞いていた1年生も立派な態度でした。小学校生活のよいスタートが切れたと思いました。

代表児童2人の様子から、1年生から5年生までの5年間、しっかり学んできていることを実感して、大変うれしく思いました。

また、入学式に際しまして、保護者の皆様にはマスク着用や児童の健康観察等、大変お世話になりました。ありがとうございました。



集団登校より

集団登校が始まりました。上級生の班長さんの後ろをしっかりついて歩く下級生。その中には、黄色い帽子をかぶった1年生の姿も。班長さんは、後ろを歩く下級生の歩く速さに配慮しつつ、時折後ろを振り返りついてきていることを確認する姿も多く見られました。その何気ない行動に「やさしさの心遣い」が感じられ、あたたかな気持ちになりました。

また、下級生の子どもたちも上級生の子どもたちについて行こうと歩みを進めている様子が見られました。特に、1年生の子どもたちにとっては、ランドセルを背負って歩くだけでも大変な時期だと思います。登校に慣れるまでは、登校班の子どもたちや学校・家庭みんなで見守ってあげることが大切だと思います。交通安全や体調管理等、配慮していきたいと思っています。

めざす児童像～すすんで学習する子



学校では、『「わかる・できる」授業づくり』に取り組んでいます。これは、一つ一つの授業で「こんなことが分かった」「こんなことができるようになった」等、児童が自覚できるような授業のことです。学びの成果を自己認識できれば、学習意欲の向上につながるとともに学力向上に結びつきます。さらに、家庭学習とよりよく連動することによって学習習慣の定着にもつながります。家庭学習では、学校から与えられた課題に取り組むとともに「自分は何を学習すべきか」ということを考え、自ら学習内容を考慮する能力も大切になってきます。学校と家庭が連携・協力することで、学力向上を目指したいと思っています。お忙しい中とは思いますが、家庭学習へのご協力をお願いいたします。



落ち着いた生活を



入学式・始業式を終えて初めての週末になります。新たな学級・学年となり、新鮮な気持ちでやる気に満ちた状態だと思います。ますます学習や運動に意欲的に取り組もうとしていると思います。ただ、そのような時期にややもすると落ち着きに欠ける行動が見受けられることがあります。ですから、特に「交通事故に遭わない」「不審者による被害に遭わない」等、『自分の命を自分で守る』意識をもち、落ち着いた生活を心がけてほしいと思います。